

FOREIGN AFFAIRS REPORT



フォーリン・アフェアーズ・レポート 2009, NO.7

特集1 グローバル経済危機と日米中経済の相克

経済危機の長期化は避けられない

ロジャー・アルトマン p.6

「中国が明らかな勝者であるのは間違いない。そのユニークな政治・経済モデルは今回の危機によってほとんど傷を受けていない。・・・今後米中関係が世界においてもっとも重要な二国間関係になっていくことがますます明らかになりつつある」

論争 グローバル経済危機はいつまで続くのか

——日米、二つの経済バブルを検証する
ロバート・マッドセン、リチャード・カッツ p.16

中国経済は日本経済の救世主になれるか

ブライアン・クライン p.26

金融危機の教訓

ベン・ステイル、セバスチャン・マラビー p.31

読者の疑問に答える

国家資本主義の台頭と市場経済の終わり？

イアン・ブレマー p.39

CFRインタビュー

イランで展開される劇的な権力ドラマの内幕

——ハメネイはムサビを受け入れるか
カリム・サジャブアー p.45

「自分の言いなりになる大統領を維持するためにアフマディネジャドを救うか、妥協して大統領としてのムサビを受け入れ、自らの政治的役割を制限することを受け入れるか、最高指導者のハメネイは大きな選択に直面している」

フォーリン・アフェアーズ・アップデート

パキスタン軍のタリバーン掃討作戦の予期せぬ結末とは

ウィリアム・ウィーラー p.51

特集2 「核のない世界」と核不拡散 北朝鮮モデルの脅威

CFRミーティング

ウィリアム・ペリー、ブレント・スコークロフトが語る

「核のない世界」と核拡散という現実..... p.56

「今日の脅威を「核拡散と核テロリズム」と捉える点ではすでにコンセンサスがある。だが、オバマ大統領の「核のない世界」という概念については人々の立場は割れている。私は大統領の立場を支持しているが、一部には「核のない世界」は実現できないだけでなく、望ましくもないと考える人々がいる」(W・ペリー)

4人の専門家が分析する

北朝鮮の核、権力継承、経済制裁、外交交渉の行方

チャールズ・ファーガソン、ポール・B・スターレス

デビッド・C・カング、チャールズ・ブリチャード p.71

「北朝鮮の指導者は今後も権力継承問題にかかりっきりとなるだろう。権力継承プロセスが長期化し、それが完了するのは2012年になるという見方もある。この年が故金日成の生誕100周年であると同時に、金正雲が30歳になる歳だからだ」(P・スターレス)

クラシック・セレクション 2008

内からの崩壊を恐れる平壤

アンドレイ・ランコフ p.78

国際レジームの未来形、「拡散に対する安全保障構想」に注目せよ

アマタイ・エツィオーニ p.87

途上国への農業援助を見直せ

キャサリン・バルティニ、ダン・グリックマン p.93

《フォーリン・アフェアーズで今後を読む》

経済危機も北朝鮮危機も長期化し、世界は分断化される? p.105

フォーリン・アフェアーズ・レポート 2009 No. 7

FOREIGN
AFFAIRS
REPORT



○編・監訳 竹下興喜 (フォーリン・アフェアーズ・レポート 編集・発行人)

○翻訳 入江洋、石井知、藤原朝子、吉村裕子、堀田美和

○製作・進行 竹田みどり、宮崎友子、山崎誠一

○印刷 株式会社さとう印刷社

www.foreignaffairsj.co.jp

〒113-0021 東京都文京区本駒込 5-20-4 2F

Tel: 03-5815-7152 (購読) / 03-5815-7151 (編集)

Fax: 03-5815-7153

E-mail: general@foreignaffairsj.co.jp